

## 毛糸のおっぱいプロジェクトの主な参加イベント

様々な学習会で販売や PR をさせていただきました。委託販売を引き受けた方ははじめ、たくさんの方にお世話になりましたことを改めて御礼申し上げます。皆様、いつもありがとうございます！

2014年

- 1月 第35回 JALC 母乳育児支援学習会 in 東京
- 2月 第39回 全国助産師教育協議会師研修会 in 仙台
- 3月 第11回 IBCLC のための母乳カウンファレンス in 名古屋
- 5月 平成26年度日本助産師会総会 第70回日本助産師学会 in 福岡
- 日本B PW連合会 2014年総会山形大会（委託）
- 6月 母乳育児支援を学ぶ 九州教室（委託）
- 第36回 JALC 母乳育児支援学習会 in 仙台
- 7月 神奈川県助産師会助産所部会研修会
- 8月 愛和病院（委託）
- 8月～10月 熊本助産師会（委託）
- 10月 第10回 JALC 医師のための母乳育児支援セミナー in つくば
- 平成26年度 日本助産師会 中国・四国地区研修会 in 広島



2015年

- 1月 第37回 JALC 母乳育児支援学習会 in 東京
- 3月 第12回 IBCLC のための母乳育児カウンファレンス in 京都
- 第29回日本助産学会学術集会 in 東京
- 6月 第38回 JALC 母乳育児支援学習会 in 神戸
- 7月 第11回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会 in 横浜
- 日本助産師会出版（委託）
- 11月 ぽれぼれお楽しみ会 in 富谷（仙台）（ママサークルチャリティーイベント）
- 12月 マタニティサポートカフェ鹿児島（委託）

全てを掲載することはできませんでしたが、各地の勉強会などでも  
多数委託販売をしてください、心より感謝申し上げます。

プロジェクト開始から  
**4,231個**のあむあむおっぴ  
**1,294個**のミニおっぴ  
**324体**のあむあむちゃん  
**457個**のストラップを  
お買い上げいただきました。  
(2015年12月現在)

**あむあむおっぴを販売しませんか？** くわしくはお問い合わせください。

### 委託販売

1回につき30個以上預かっていただき、売れ残りは着払い返品いただく方式。  
売り上げの20%を委託料としてお支払いたします。  
イベント、学習会などでもご利用下さい。

**まとめ買い** 定価にて10万円分以上をまとめてご注文いただくと30%引きにさせていただきます。

単品、10個パックのご購入は  
ホームページからの申込が便利です。  
あむあむおっぴ 1個 2,000円  
ミニおっぴ 1個 1,200円  
あむあむちゃん 1体 6,000円  
ストラップ 1個 500円  
送料500円をご負担いただいております。

毛糸のおっぱいプロジェクト

検索

TEL 022-772-5960 FAX 022-774-1604  
Mail oppi@tomo-j.jp

### お支払方法

<銀行振込の場合>

七十七銀行 向陽台支店（普通）5367638

口座名：毛糸のおっぱいプロジェクト 代表 北原郁恵

<郵便振替の場合>

郵便局備え付けの「払取扱票」（郵便振替用紙・青色）か、

当方で配布中の印刷済み振替用紙（青色）をご利用下さい。

口座記号 - 口座番号 022804134233

加入者名 毛糸のおっぱいプロジェクト

# 毛糸のおっぱいプロジェクト



ニュースレター VOL.4

2013年12月～2015年12月の活動報告

2015年12月発行 事務局／とも子助産院  
仙台市泉区野村字野村 95-6 022-772-5960

## 毛糸のおっぱいプロジェクトを応援してくださっている皆様へ



3.11.のあの日より、はや4年以上が過ぎました。市街地は何事もなかったように、華やいでいますが、沿岸部の殺伐した風景には、あまり変化を感じられません。ただ大型トラックと重機の音が鳴り響いています。夜、家を一步でたら、真っ暗。そういう生活がまだ続いている。東京オリンピックが決まってから、インフラ工事は一層遅れをとっているという話も聞きます。人口減少も著しいです。世界的にも有数の漁業基地である気仙沼ですが、ようやく住宅地のかさ上げ工事が終了して仮設住宅を出られるめどが立ってきたというところです。

『あそこで何人、あそこでは何人いなくなった。』と思うとどこにも出たくない。前の風景を知っているからね。今は土色でしょ。見たくない。』

「あんまり風景が変わってしまってね、自分がどこにいるのかわからなくなる。日が暮れると迷子になりそうで、おっかないんだ。」「ふつと思うと、『あれもあったのに、これも無いんだ～。』となくなった物ばかり数えてしまう。」と、おっぴ様たち（宮城言葉で、おばあちゃん達のこと）が話します。

編み物好きのおっぴさまにとって手仕事は、さみしさを紛らわすお薬。「どこかの赤ちゃんやお母さんの役に立つ日を思いながら、きれいなもの、かわいいものを触っていると、いやなことを考える時間が減るから、助かる。」と言っています。

毛糸のおっぱいプロジェクトの事務局をしているとも子助産院も、今年の9.11. 関東東北豪雨で浸水の被害を受けました。津波の比ではないものの、泥水に浸るということが、どれほどのものか、身をもって知り、また継続支援や寄り添いのありがたさが、心に沁みました。古い家具や写真、長年使いなじんだ道具たち。資産価値はなくとも、生きてきた証のような物たちが、すっぽりなくなるのは、なんとも言えない寂しさです。「海水じゃないからまだましよ！」「物欲は捨てて、未来志向でね！」「命あったら、また買える！」仲間たちから厳しくも現実的な暖かい叱咤激励を受けつつ、助産院も再起をかけて奮闘中です。

海がようやく生き返ってきて、今年は名物の養殖牡蠣も、大きく育って、おいしくたっぷりいただきました。忍耐強い東北の女達が、力を合わせ逞しく頑張っています。

昨年あたりまでは、いろいろな仕事作りや癒しの支援がありました。今では、そのほとんどが終了してしまいました。今でもこうして、毛糸のおっぱいプロジェクトが続けられているのは、購入・活用してくださる皆様があってこそ。母乳育児支援とともに、被災した高齢女性たちの癒しと収入の一助として、継続していくたいと思っています。

今後とも、お力添えをお願いします。

（とも子助産院 伊藤朋子）



2015.9.11 撮影

Facebook 始めました。

<https://www.facebook.com/keitonooppai/>

新作の入荷情報や季節の便りを発信していきます。  
いいね！& フォローお願いします ^^\n

# 気仙沼へGO! 編み手さんを訪ねてきました♪

## 代表北原一家の来訪レポート

2015年初夏、気仙沼へおっぴ様を訪ねました。私にとっては実に4年ぶりの再会。おっぴい様たちのこぼれんばかりの笑顔がとても嬉しかった！

手作りのおこわ・お漬物、子供たちへのジュースやおやつを用意してくれて待っていました。今回は北原家全員でお邪魔しました。都合のついた3人のおっぴ様が集まって下さって、話は弾む弾む。本当に元気そうで、「最近どうなの？元気だけど腰が痛くってさーなかなか出かけらんなくてー」なんて、ささいな日常を垣間見ることが出来た様な気がします。

今現在は各々の新しいお住まいに移られて、なかなか会う機会が無いのだそうです。

「今日みたいな機会があったから、こうしてみんなと会えたのよ。」と言って頂けて本当に嬉しかったです。

プロジェクト発足から4年、実にいろいろなことがありました。私自身、このプロジェクトは自己満足なのだろうかと悩んだ時期もありましたし、プロジェクトのメンバーが入れ替わったりしながら、なんとかここまで来れましたのも、全国の皆様の温かいご支援のおかげと思っております。こうしておっぴ様の笑顔を見ることが出来、今まで続けてきて本当に良かったなと感じております。

気仙沼の漁港は活気を取り戻しつつある一方で、海側の開発・整地はまだまだ進まず、津波の爪痕を大きく残したままですが、こうして被災した方々の前向きな笑顔のエネルギーを感じ、もっともっと私も頑張らなくっちゃ！と思った一日となりました。

お別れの時には、「今度は私のうちに泊まりに来てね！」といってくれたおっぴ様。ありがとうございました。また遊びに行くね！



気仙沼の人気ゆるキャラ



復興屋台村近くはずっと工事中



津波到達地点

## とも子助産院 鍼灸師椎名敦子の来訪レポート

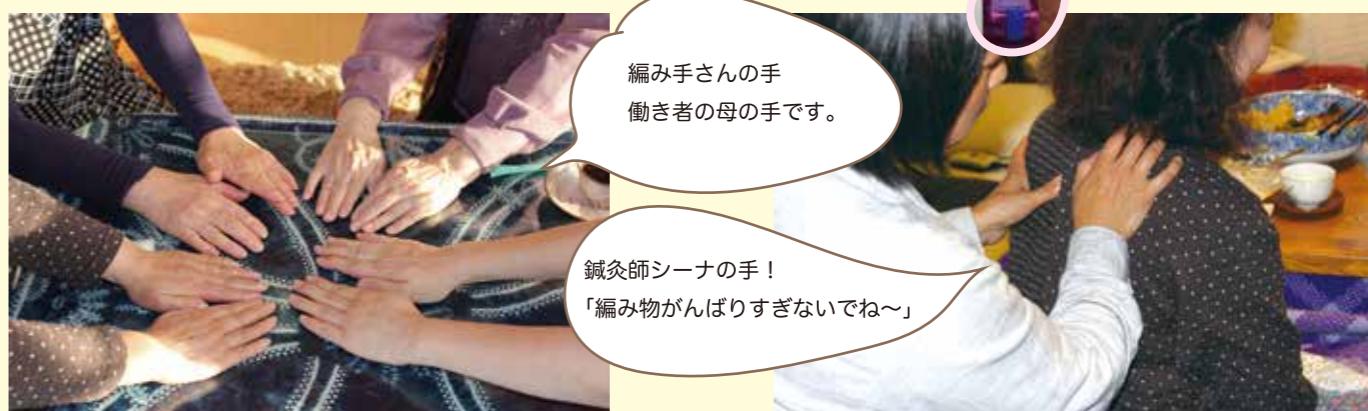
2015年11月5日、青空の中、岩手の助産師さんから譲り受けた車で気仙沼まで快調な編み手さん訪問の旅をしてきました。（※ 9/12の豪雨水害で助産院の車は水没）

街について、まず、復興屋台村気仙沼横丁へ。散策しながら衝動買いしたのは、ホヤボーヤの顔入り認印。この印鑑で捺印したら、難しい書類も楽しく思えそう^\_^ 助産院では専ら玄関で宅配受領印に使われています。

多少、道に迷ったりしながらも編み手さんの元へ。お待たせしたにもかかわらず、笑顔とごちそうで迎え入れて下さいました。味付けが絶妙！！な煮物を始め、手の込んだ料理がテーブルに並んでます。美味しい箸を止められずにいると、又、次の品がコースのように出てきました。“あむあむおっぴ”同様、細やかな気遣いが感じられるおもてなしを受けました。

そして皆さん楽しそうにおっぴの編み具合、在庫の毛糸の事など、ともさんに報告。これがまた、仕事っぽい申し送りの雰囲気ではないんです。編むのが好きで好きで、どんどん新たな物に挑戦されてるようで、来年の干支の猿の編みぐるみも飾られていました。

いつも前向きでにこやかなおばあちゃん方にお会いし、元気をもらって帰ってきました。



## 第11回 ICM アジア太平洋地域会議・助産学術集会 2015年7月20日(月)~22日(水) パシフィコ横浜

横浜で、毛糸のおっぱいプロジェクトの発表をして参りました。

全国の皆様にご支援いただいているこのプロジェクト。活動のご報告と今後の展望、あむあむおっぴの使い方を直接言葉で伝えられる、有意義な機会となりました。

その時にお声をかけてくださった、『NPO法人 母子フィジカルサポート研究会』 代表理事の助産師 吉田敦子様。気仙沼のほやほーやをお持ちで、気仙沼を応援してくださっている方でした。いつもありがとうございます。

国際学会ということもあり、いろいろなお国の方々が、おっぴに興味を持ってくれましたが、『何のためにどうやって使うの？』という質問が多かった様子。きちんとお伝えできたら嬉しいのですが。 (代表 北原郁恵)



## あむあむおっぴ掲載！

母乳育児支援のテキストに、教材として、私たちのあむあむおっぴが、紹介されました。水野先生、ありがとうございます



## ミニおっぴストラップ、好評です！



「わあ！かわいい～。おっぱいみたい。」  
そうです。ほっこりかわいいおっぱいなのです。  
手間がかかるのに破格の500円です。  
授乳指導には向ませんがアクセサリーにどうぞ♥